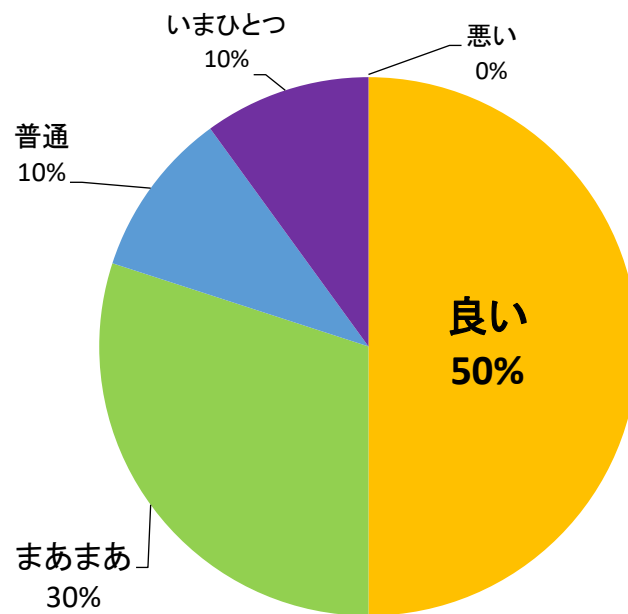


第 245 回 J. I. フォーラム アンケート
「人口減少時代に、被災地の復興から学ぶこと」
—関係人口という考え方—

フォーラム参加者： 28 名
アンケート回答者： 10 名
回 答 率： 35.7%

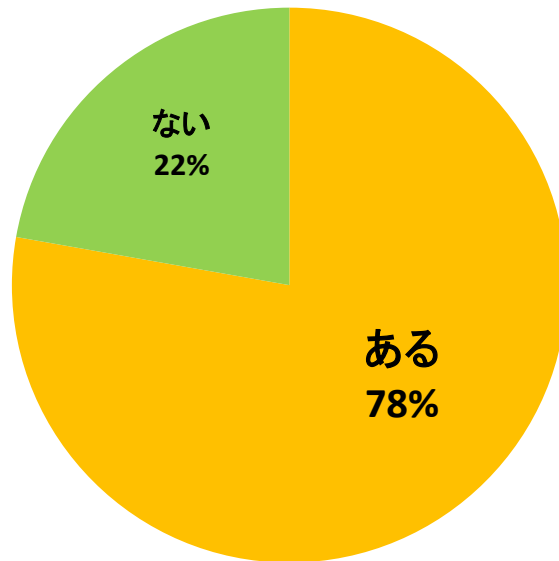
●本日のテーマ、内容、進め方はいかがでしたか。



<p>主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被災自治体の前向きに取り組むマインドに感銘を受けました。 ・ 福島県で実際にご苦労されている町長の話が聞くことができ、大変興味深かったです。 ・ とても貴重で、深いお話しでした。特に印象に残ったのは、 「伝える」⇔「伝わるの溝」 「失ったことで分かったことがある」 というご発言でした。 ・ 直接聞き、顕実に見ないと真意は見えてこないと感じました。 マイナスよりむしろプラス面を見ることが重要、伝えることと伝わることの差の意味、など考えさせられるご発言が多かったです。ありがとうございました。 ・ もう少し、「関係人口」について話を深めてほしかったです。ただ、と
-------------	---

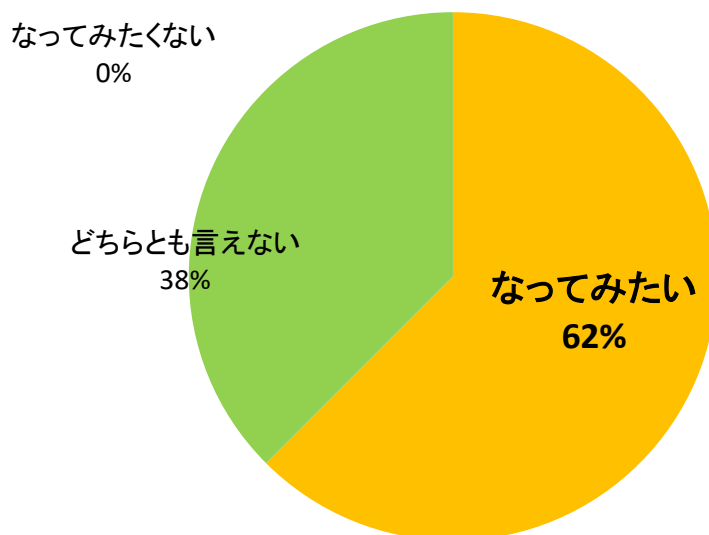
	<p>でも参考になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少しゲストの皆さんとフロアとのやり取りが多いといいなと感じました。
--	---

●「関係人口」という言葉を聞いたことがありますか。また、この「関係人口」という考え方をどう思いますか。



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・よいアイデアと思うが、議論であったように自分事化するのが難しいと感じました。 ・各自治体は、同様に人口減少に悩んでいますが、本当に悩むべきは、人口よりも、その市町村に関心を持ち続ける人が減少することだと思います。関係、絆、つながりを、どこに住んでいても維持していくのは、大変、重要だと考えます。
------	---

●ふるさと住民になってみたいと思いますか。また、こんなことができるならなつてみたい、というアイデアはありますか。



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・高校、大学で他の都市へ通う、移住する若者達に、ふるさとを離れる前に、「ふるさと住民票」を持ってもらい継続的に、ふるさとの情報を伝えていく、ふるさとにつないでいくのが良いと思います。
------	---

●ふるさと住民あるいは関係人口の一人として関わってみたい市町村とその理由をお聞かせください。

主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣市：住んでいたから。 ・福島の色々な市町村：福島県出身のため。 ・白井市：市内には、高校が1校、大学は0校。一度外に出ると、親が居てもリターンする人が少ない。
------	--

●被災地に限らず、今後日本は人口が減っていくと言われていす。そうなつた時、地域に関わるとすれば、どんなことについてですか。

主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある地域にするためのアイデアを出していく。 ・高齢者などが、ひきこもりや認知症、孤独死にならないような、居場所・絆作り。(サロン、見守り etc.)
------	--